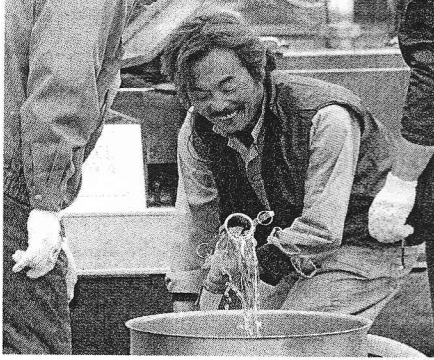


ボランティア次々

新潟県中越地震で大きな被害を受けた県中部の長岡市など四市四町で二



笑顔で給水活動に当たるボランティア＝26日、新潟県小千谷市

十六日現在、四百七十人以上のボランティアが作業に当たった。避難所で

食事を配るなど本格的に始動した。

被災した自治体や県の災害救援ボランティア本部には、全国各地から問い合わせが殺到しており、担当者は「圧倒的人手不足の折に大変ありがたい」と話している。

各自自治体などによると、ボランティアは長岡市が百九十八人、小千谷市九十九人、十日町市約五十人、栃尾市二十九人、越路町約五十人など。自治体に登録せず、自主判断で被災地に入った人も

多いとみられる。

長岡市の社会福祉協議会に設置された災害ボランティアセンター。「炊き出しの容器が必要だ」

「支援金口座を早くつくろ」と社協職員や他県から駆けつけた市民団体メンバーらが机を囲み活動方針を話し合っ

た。

その横で受け付けを終えたボランティアが即座に避難所に向かった。

岡山県内でも救援物資募る

新潟県中越地震の被災者への義援金や救援物資の募集が、岡山県内で広

がっている。

がっている。

岡山県は二十六日、毛布やタオルケットなど約二千点を新潟県に提供する方針を決定。笠岡市(0865②2121)も同日、義援金と現地ボランティアの受け付けを始める。

岡山県哲多町田淵の公設国際貢献大学校(0867②2062)は、毛布や使い切りカイロ、紙おむつなど、被災者の防寒・生活用品を募集。同

大学校が哲多町役場で受け付ける。

岡山県山陽町(0869⑤1111)も町役場で義援金受け付けを始め、今後、公民館や図書館など各施設に窓口を広げる予定。

また、笠岡市笠岡のカトリック等教会(0865②2232)は、義援金と新品のタオルとタオルケット、清潔な毛布の三種類を二十九、三十

一日(午前九時～午後八時)の間受け付ける。岡山高島屋(岡山市本町)でも二十七日から十一月

末まで、台風被害を受け

た岡山県と地震被害の新潟県向けの募金箱を一階

に設置する。

広がる支援の輪